

# コミュニティの輪

## 平成29年度 埼玉県民の日

去る11月14日(火)、埼玉会館(さいたま市)において「平成29年度 県民の日記念式典」が開催されました。知事表彰や小中学生の絵画・作文コンクールの表彰のほか、彩の国コミュニティ協議会主催のシラコバト賞の表彰が行われ、受賞者の代表に当協議会会长 上田清司埼玉県知事から賞状、副賞の楯が授与されました。

埼玉県のマスコット「コバトン」



### 第49回 シラコバト賞

日頃身近なところで、住みよい地域社会の実現のため、積極的な実践活動を地道に続けている個人や団体の活動と功績を称えるものです。今年度は146の個人、54の団体が受賞されました。

### ・受賞者・団体の紹介

#### 心のふれあいを深める活動

##### ほほえみキッズサポーター (戸田市)

親子相談会等の協力、講習会を実施。幅広い方面から親子へのサポートに係わっています。



#### 健やかな心身を育てる活動

##### 江口 義徳 氏 (小川町)

登下校時の見守り活動を行っています。また、剣道を通じて、子供たちに礼儀を指導する等、青少年育成にも尽力しています。



#### 住みよいふるさとをつくる活動

##### 鴨川みずべの里わくわくネットワーク (さいたま市)

鴨川みずべの里の清掃や花壇整備、自然観察会等のイベントに取り組み、地域コミュニティの醸成や青少年の健全育成に努めています。



#### 郷土を知り、郷土を想う活動

##### 吉野 省司 氏 (行田市)

地域の子供たちにお囃子を伝承しています。地域の伝統芸能の伝承と保存、後継者の育成等に尽力しています。



### 県庁オープンデーにサイコミ君が登場！

県民の日にあわせて埼玉県庁の庁舎が公開となる県庁オープンデーでは、オリンピック・パラリンピックPRブース、「秩父屋台囃子」実演など、様々なイベントが開催されました。県内各地のご当地キャラが集まる、ゆる玉応援団のステージにサイコミ君も登場し、協議会をPRしました。



# 平成29年度 共助事例発表会



平成29年12月21日(木)、彩の国コミュニティ協議会の共助事例発表会が開催され、協議会会員による事例発表に続き、特例認定NPO法人ユーアイネット柏原代表理事の小澤浩氏から「地域社会の形成に向けて」と題して御講演をいただきました。

## 生活協同組合 パルシステム埼玉

活動拠点を活かした  
コミュニティ活動



地域活動室 室長  
**石川 誠 氏**

世代を超えた、様々な人々が集い、「コミュニティの中心・拠点」となるよう組合員活動施設「ぱる★てらす」を2016年に開設しました。この施設では、食育活動、平和学習会、体操教室など、様々な学習会やイベントが毎日のように開催されています。

毎週金曜日には、「親子ふれあいサロン」を開催しています。回数を重ねるうちに金曜日以外の日にも、赤ちゃん連れのお母さんたちがたくさん来てくれるようになりました。2017年度からは、新たに地域の団体にも御協力いただいています。

これからも他団体と連携することで、新たな「つながり」を作り、地域での支え合いや居場所づくりに貢献したいと考えています。

## 株式会社武蔵野銀行

武蔵野銀行の  
取組みについて



総合企画部広報・  
CSRグループ  
副グループ長  
**小池 淳一 氏**

当行では、「地域共存」「顧客尊重」を経営理念に掲げ、地域社会・経済の発展に貢献していくことを目指し、多岐にわたる活動を継続的に展開しています。

埼玉県との協定のもと、NPO法人の課題解決をサポートしているほか、行内ボランティア組織「武蔵野ボランティアクラブ」では500名を超える行員が様々な活動に参加しています。

また社会福祉法人などへの各種寄付活動、文化芸術やスポーツイベントの開催、障がいのある方の活躍の場拡大に向けた「むさしのハーモニー株」の設立などに取り組んでまいりました。

今後も地域との絆を大切にして、皆様の御期待にお応えすべく、充実した活動を目指していきたいと考えております。

## 幸手市コミュニティ づくり推進協議会

幸手市コミュニティづくり  
推進協議会主催事業  
(大島新田調節池・権現堂調節池(行幸湖)クリーン作戦)



事務局長  
(幸手市市民協働課 課長)  
**長田 広 氏**

当協議会は、郷土に残されている豊かな自然を守り、美しく住みよい環境整備を目的としたみどりと川の再生活動の一環として、権現堂調節池クリーン作戦と大島新田調節池クリーン作戦を実施しています。

清掃する範囲が行政境にあり広範囲にわたるため関係機関が協働して取り組む必要があります。隣接する久喜市・栗橋コミュニティづくり推進協議会、杉戸町・同コミュニティづくり推進協議会、茨城県五霞町、県杉戸県土整備事務所との共催により行っています。

幸手市では、両クリーン作戦に各600人弱の方が参加されます。各団体役員の高齢化、経費負担などの課題もありますが、地域の皆さんのがんばりの健康増進・収集の機会にもなっています。

## 特例認定NPO法人 ユーアイネット柏原

地域社会の形成に向けて



代表理事  
**小澤 浩 氏**



私たちの住む地域は、1980年代に造成された典型的な都市郊外型ニュータウンで、戸建住宅が約1,600戸、当時30~40代の方が購入されました。約40年経過して共に年齢を重ね、急激な少子高齢化の進行により日常生活を営む上で困りごとのある人が急増しました。

退職後、自治会役員、中学校の英語授業支援、趣味を活かした施設慰問などを通じて地域の実態を知りました。そして市の「元気大学」を受講した際の卒業論文を内閣府のコンペに応募したところ最優秀賞を受賞しました。このプランを基にコミュニティビジネスの手法を用いて地域の課題を解決することを基本コンセプトとするNPO法人を設立し、事業を始めました。

「生活支援事業」は、日常生活を営む上で支障がある高齢者などのお困りごとのある方を支える有償ボランティアです。

「コミュニティサロン事業」は、飲食サロン「コミュニティ・カフェ“ゆうあい”」の運営により、地域の交流と憩いの場を提供します。また、行事サロンでは、各種教室やサークル活動、イベントを開催しています。

そして、県が推進している「地域支え合いの仕組み」の実施団体として、スタッフへの謝礼を地域商品券で渡し、地域経済の振興にも寄与しています。

地域はシニア人材の宝庫です。その力を必要とする人たちが大勢います。人助けは物心両面を豊かにします。一步踏み出す勇気を出して住みやすいまち創りをすすめましょう。



# 「広げようコミュニティの輪」 第50号記念特集 会報誌の歴史を振り返る!

会報誌では、定期総会や事例発表会、埼玉県内の様々なコミュニティ活動を掲載し続けてきました。今回は会報誌「広げようコミュニティの輪」第50号という節目を迎え、今までの会報誌の印象的な記事などをピックアップしました。読み返してみると、改めて参考になる活動が見つかるかもしれません。

## 過去の広報誌

昭和54～62年度に広報誌「さいたまコミュニティ」を発行、昭和63～平成8年度に県の広報誌「ぶりむら」に協議会として一部記事を掲載していました。



さいたまコミュニティ



ぶりむら

## 第6号(平成15年度)上田知事の会長就任

平成15年度に、上田清司埼玉県知事が当協議会の会長に就任され、就任の挨拶を掲載しています。「私は、彩の国コミュニティ協議会が核となって、地域活動を続けているあらゆる団体や企業、そして市町村との連携を図ることにより、住みよい地域社会を築くための活動を、より一層活発に進めていきたいと思っています。」と抱負を述べています。

## 第28・31・38号(平成21・22・24年度)サイコミ君関連記事

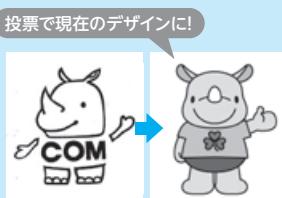
### ■第28号 サイコミ君のデザインリニューアル!

協議会設立30周年を記念して協議会のマスコット「サイコミ君」のリニューアルを実施することになりました。

会員による「サイコミ君」新デザインの投票が行われ、投票結果が掲載されました。このサイコミ君が今も活躍しています。



候補になったサイコミ君デザイン



投票で現在のデザインに!

S62～H21 ⇒ H22～現在

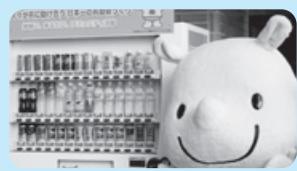
### ■第31号 着ぐるみ誕生

初めて着ぐるみをお披露目!



### ■第38号 支援型自動販売機の設置

サイコミ君が描かれた「コミュニティ協議会支援型」自動販売機の第1号を発表しました。



第1号は埼玉県県民活動総合センターに設置されました。

## タイドラン

### 創刊号

### 10号

### 20号

### 30号

### 40号

### 50号

## 創刊号(平成12年度)

平成12年度に会報誌の創刊号が発行されました。当初の表紙は、地域のコミュニティを連想するイラストが採用されました。

創刊号では、今号でも掲載しているシラコバト賞受賞者の活動や当時実施していた顕彰事業などが掲載されています。



## 第7・8号(平成15・16年度)国体に関する記事

平成16年度に開催された「彩の国まごころ国体」に関連して、第7号では市の活動、第8号では記念講演を掲載しています。

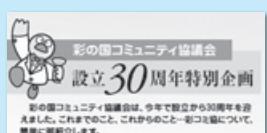
## 第25・26・28号(平成21年度)協議会設立30周年!

### ■第25号 設立30周年記念イベントの開催報告

イベントでの上田会長の挨拶、地域協働をテーマにした基調スピーチ、事例発表等の内容を掲載しています。

### ■第26号 設立30周年特別企画

協議会のこれまでの事業や、今後の取組について紹介しています。



### ■第28号「コミュニティ協議会のあり方検討会」の報告

検討会は、協議会設立30年を機に設置され、協議会のあり方について提言がまとめられました。

## 第40号(平成25年度)表紙が現在の形に

表紙にも記事を掲載した、現在のデザインに。内容が更に充実したものになりました。



# 市町村コミュニティ協議会の取組

彩の国コミュニティ協議会では、市町村協議会が行う共助社会づくり事業に対して助成をしています。  
今年度の助成事業について、一部御紹介します。

## 親子ファミリー劇場(春日部市コミュニティ推進協議会)

春日部市コミュニティ推進協議会では、親子の触れ合いを深める機会とするため「親子ファミリー劇場」を開催しています。平成29年度は、11月12日(日)に春日部市中央公民館において「アンディ先生のストリートマジック」を開催しました。アンディ先生は、NHK教育テレビの「みいつけた!」や「シャキーン!」にも出演したことのあるプロのマジシャンです。

アンディ先生は、会場の子どもたちに優しく話しかけながら、空っぽの小さな家から次々とぬいぐるみを出した後に人間のお姉さんを登場させたり、ボールの絵を描いた新聞紙ほどの紙と紙の間から本物のボウリングの球を出したりして、鮮やかなマジックに子どもたちから「えー!」「すごーい!」と歓声が上がりました。



手品の説明をしている  
アンディ先生



中盤では、マジックをやりたい子どもたちをステージに上げて、紙を可愛らしい帽子に変えるマジックやクイズ形式のカエル三兄弟のマジック、体が宙に浮くマジックなどを子どもたちに体験してもらいました。

終盤も、コインやトランプを使ったテーブルマジック、人間の空中浮遊や瞬間移動等の大掛かりなイリュージョンなど、観客席の子どもたちと一緒に掛け合いをしながら様々なマジックを披露してくれました。

アンディ先生の約1時間半にわたるショーで、267人の親子が驚きと笑いのひとときを一緒に過ごすことができました。

## 会員紹介

彩の国コミュニティ協議会の会員を紹介します。

### 公益財団法人 埼玉県老人クラブ連合会

老人クラブは、戦後まもない昭和25年ごろ、高齢者自らが集い、新たな役割を求めて誕生した自主組織です。現在も、高齢者の生きがいと健康のために、仲間で相互に支え合い、社会貢献するクラブづくりに励んでいます。

埼玉県老人クラブ連合会は、昭和36年に結成され、現在、埼玉県内のクラブ数、会員数は3,073クラブ、170,701人(平成29年3月末日現在)、全国では約10万3千クラブ、約587万人になり、各市町村に連合会が結成されています。

埼玉県老人クラブ連合会の主要事業は、公園・道路清掃等の社会奉仕活動の推進、防犯リーダーの育成、シルバースポーツ大会、社交ダンス大会、趣味の作品展示会等があり、多岐にわたります。



シルバースポーツ大会  
(ワナゲの部)



本年1月には、川口総合文化センター・リリアのメインホールで会員の代表者が集まる「埼玉県老人クラブ大会・指導者研修会」が盛大に開催され、老人クラブの育成・指導に貢献をした方を顕彰する表彰式、会長による講演会、会員による銚太鼓等の発表がありました。来賓として、田島埼玉県福祉部長(上田埼玉県知事代理)、奥ノ木川口市長が出席し、挨拶では連合会の地域への貢献に期待を寄せてくださいました。

今後も、老人クラブの活動をとおして、あたたかな地域づくりを担っていくことを目指していきます。また、老人クラブの活動に参加してくださる方の御入会をお待ちしております。



サイ  
イ  
コ  
ミ  
君  
  
情  
報  
局

彩の国コミュニティ協議会のマスコット「サイコミ君」は、各地のイベントでコミュニティ活動のPRを行っています。今年度も県内の様々なイベントで大活躍しました。  
ぜひ地域のイベントにサイコミ君を呼んでください♪

### 協議会の総会



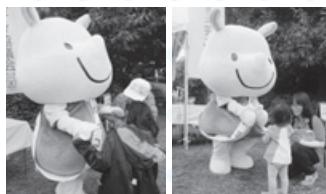
出席者の皆さまをお出迎え!

### 彩の国いきいきフェスティバル (県民活動総合センター)



ハロウィンイベントに参加!サイコミ君も  
かぼちゃのポシェットでステージに♪

### 富士見市ふるさと祭り



子供たちに引つ張りだこのサイコミ君

### 伊奈町コミ協エコバッグ



伊奈ローズちゃんと可愛い  
エコバッグになりました